

真英寺同朋会 映画鑑賞

本年度一回目の同朋会は映画鑑賞会を企画いたしました。

映画を鑑賞したあとにみなさんと映画の感想など話し合いの場を持つことができると考えています。ぜひご参加ください。

開催日 2019年4月13日(土) 15:00~17:30

会場 真英寺本堂(東京都新宿区若葉2-1-3)

上映映画 生きるのに理由はいるの?
～「津久井やまゆり園事件」が問いかけたもの～

2016年7月に起きた障害者施設で起きた殺傷事件。
事件から2年以上経ちましたが、みなさんはあの事件をどのように受け止められているのでしょうか?

今回上映する映画は「津久井やまゆり園事件」のドキュメンタリー映画です。近ごろではすっかり報道されなくなってしまいましたが、いったいあの事件が何を伝えようとしているのか。一緒に考えてみたいと思います。

参加費 1,000円(当日受付にて)

日程	15:00	開 会 ・ お勤め
	15:10~16:00	映画鑑賞
	16:30~17:30	座 談
	17:30	閉 会 (早退いただいても結構です)

申込先 TEL 03-3351-5955 / FAX 03-3351-8689

メール m-miura@sineiji.jp

～同朋会今後の予定～

6月15日(土) 15時～ 輪読会

8月 3日(土) 14時～ 蓮光寺(東京都葛飾区) 真夏の法話会に参加いたします。詳細は追ってご案内いたします。

10月5日(土) 15時～ 輪読会

12月7日(土) 15時～ 輪読会



生まるのに理由はいるの？

「津久井やまゆり園事件」が問いかけたものは、、、



上映会主催希望の方

上映会参加希望の方



植松容疑者：「障害者は不幸しか生まない 心失者は安楽死させるべきだ」と語った

原案 堀 利和 作画 鵜澤 夕希子 編集・音効 諸橋一男
ナレーション 小野崎 桂 佐久田 脩 松野芳子 永田 亮子 慶星
協力 「創」編集部 社会評論社 伊藤 勲
山元加津子・アリス館 Vi-vo

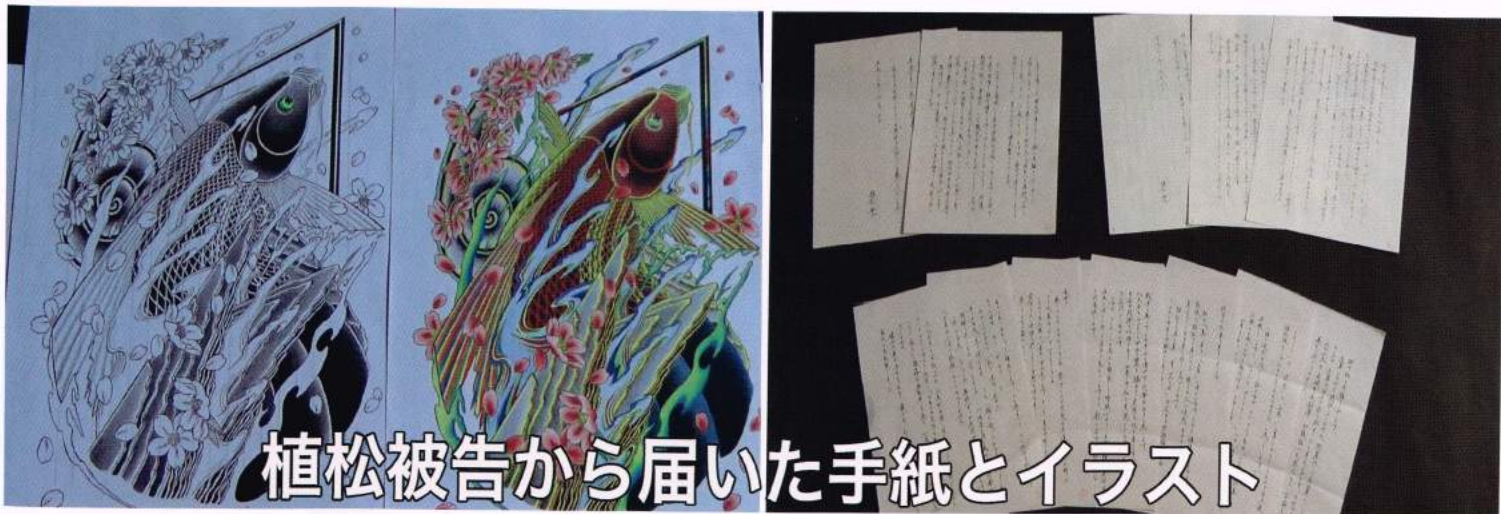
企画・制作 澤 則雄
製作 津久井やまゆり園事件を映画化する制作集団

衆議院議長への手紙

私は障害者総勢470名を抹殺することができます。常軌を逸する発言であることは重々理解しております。しかし、保護者の疲れきった表情、施設で働いている職員の生気に欠けた瞳、日本国と世界の為と思い居ても立っても居られず本日行動に移した次第であります。

障害者は人間としてではなく、動物として生活を過ごしております。保護者が絶縁状態にあることも珍しくありません。私の目標は重複障害者の方が家庭内での生活が困難な場合、保護者の同意を得て安楽死出来る世界です。障害者は不幸を作ることしかできません。私は大量殺人をしたいという狂気に満ちた発想で今回の作戦を、提案を上げる訳ではありません。全人類が心の隅に隠した想いを声に出し、実行する決意を持って行動しました。

植松 聖



植松被告から届いた手紙とイラスト

この作品は、事件の概要と集会や雑誌への投稿をまとめてあります。10人から30人程の人数で事件を考える会を開き、そこでみんなで考える場を作りませんか。

措置入院—精神保健福祉法改正の問題。被害者の匿名報道。巨大入所施設のあり方、地域移行の問題点。優生思想とは—など大きな問題ばかりです。

植松被告個人の何故犯行に至ったのか?の解明と、

それとは別にこの事件が示唆した日本社会の問題にも向き合っていかなければ!と思います。

主催者の意向に沿って協力させていただきます。

製作 津久井やまゆり園を映画化する製作集団

連絡先 澤 則雄 090-5536-9172 noriosawa73@gmail.com